

令和2年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

飛騨市青少年育成市民会議

(1) 飛騨市少年の主張大会 6月13日(土)中止 【飛騨市】

例年、市内小中学校8校の代表による「少年の主張大会」を実施していましたが、年度当初国内に新型コロナウイルスがまん延し、国が緊急事態宣言を発出したことから、学校が長期休業となり、子どもたちが作文に向き合う機会が失われたことから、やむを得ず大会を中止することになりました。この大会は大変歴史ある青少年育成事業のため、令和3年度は録画での発表やリモート開催などコロナに対応した運営に変更するなど開催の方向で模索を重ねており、貴重な子どもたち青少年の意見を主張する機会の継続化に努めたいと考えています。

(2) 青少年健全育成地区集会の開催中止(例年6月、7月)【飛騨市 古川地区】

毎年、飛騨市の古川町地区では、学校の夏休みが始まる前に地区毎に住民を集め、青少年の健全育成について意見交換の場を設け、地域ぐるみによる青少年育成活動に取り組んでいます。集会後は、そこで語られた内容をまとめたリーフレットを作成し、全戸配布を行うことで集会に参加できなかった方にも情報を伝えておりました。ところが、今年度は予期せぬ新型コロナウイルスにより、集会を開催することが出来なくなったことから、来年度へ繋げる活動として「コロナに負けるな!! 家庭でふれあい集会」と題し、家庭内で語り合える内容として【交通安全、スマホ・SNS・インターネットに関すること】を盛り込んだリーフレットを作成し、住民に広報する形で活動を行いました。



(3) 青少年健全育成の啓発・ノベルティの配布(例年6月、11月)中止【飛騨市 河合・宮川地区】

新型コロナウイルスにより、市内の各種イベントが中止や延期または縮小開催になるなど、イベント来場者に啓発グッズを配布する機会が無くなったことから、啓発の手法を変え地域の青少年健全育成推進員の紹介と「地域のおじさん・おばさん運動」を掲載したリーフレットを配布することで、地域での青少年育成活動の意義について理解と協力を依頼しました。(10月、12月)

(4) 地域ぐるみの「ふるさと挨拶運動」10月実施【飛騨市 神岡地区】



新型コロナウイルスは子供たちの学校生活にも大きな影響を及ぼしました。特に低学年の児童は慣れないマスクの長時間着用や友達との遊びはソーシャルディスタンスにより不自由を強いられ、次第に元気が失われる状態にありました。そこでコロナ禍でも何か活動ができないか?に立ち返り学校側と協議の上、10月には感染予防対策を講じ、玄関前で通学してくる児童に向けて、青少年健全育成推進員、高校MSリーダー、中学MS Jリーダーによる挨拶運動を実施しました。子供たちとのエアークラッシュや肘タッチを交わす挨拶運動を通じて、笑顔と元気が戻り清々しい朝になりました。

(10月13日～16日)